

## 裾野カンツリー倶楽部 理事会議事録

開催日時 : 2025年11月15日(土) 午後2時30分開会

開催場所 : 裾野カンツリー倶楽部 カフェテリア

出席者

理事長(議長) : 好川 弘之

副理事長 : 鈴木 徳夫

名誉理事 : 池森 賢二

理事 : 吉川 充(委任状出席)、末次 弘明、滝口 和子、伴 義聖、  
藤岡 和子、藤原 峰之、山田 晃久 (50音順・敬称略)

倶楽部及び会社 : 裾野カンツリー倶楽部 グリーンキーパー 片岡 義明  
〃 書記 九島 宏樹

理事・総支配人の藤原より、全理事10名中、出席理事9名、委任状出席1名となっており、会則第19条3項に定める定足数を満たし、本理事会が成立することが告げられた。

会則に従い、好川理事長が議長となり議事に入った。

### 1. 裾野カンツリー倶楽部 2025年度上半期営業の報告

#### ●2025年度上半期 営業の報告 資料①-1 <藤原総支配人より>

- ・来場者数は前年度比で約800人減少したが、一昨年度比では約500人増加している。メンバー比率はほぼ横ばいである。平日の来場者数は前年とほぼ同じ水準で推移している。土日は平日と同様にスタート間隔を9分と設定しており、来場者数の増加を目的とせず、ゆったりとプレーを楽しめる環境づくりを重視している。そのため、土日の来場者数も大きくは増加していない。キャディ付きプレーの割合は約55%、セルフプレーは約45%である。
- ・来場者数は減少しているが、顧客単価が上昇しており、売上は前年より約1,000万円増加している。10月および11月も高い顧客単価を記録しているが1月から3月は閑散期であるため、下半期も上半期と同程度の実績で推移すると見込んでいる。
- ・これまで段階的にプレーフィを引き上げてきたが、今後数年は価格を据え置き、状況を見守る予定である。

#### ●会員数報告(2025年9月30日現在) 資料①-2 <藤原総支配人より>

- ・正会員557名、平日会員117名、家族会員3名、終身正会員13名、終身平日会員1名、合計677名(終身会員を除く)

- ・会員数は微減しているが、退会者の会員権を再販することで新規会員の獲得を進めている。将来的には、預託金のないプレー権の会員権募集も考えていきたい。
- ・次回のウェルカムコンペには新規会員の参加が多く、競技志向の会員も含まれている。倶楽部内の交流や競技活動の活性化につなげたいと思っている。

●コースメンテナンスについての報告 <片岡グリーンキーパーより>

- ・10月23日に初冠雪があり、富士山頂は昨年度より早い降雪となった。
- ・6月14・15日の豪雨によってNo.18ティーの右前が崩落した。復旧をする際に、管理道路の迂回路も敷設した。
- ・7月15日から25日間にわたり高温かつ無降雨が続き、散水作業や高温による機械の故障対応に追われた。
- ・8月11日の豪雨により倒木が発生し、獣害防止フェンスが破損した。
- ・9月11日の豪雨と落雷により、散水設備が故障し、暗渠排水の碎石が噴き出す被害があった。
- ・No.9グリーンが拡大レスプリンクラーが届かなくなったため、元の大きさに戻した。芝が不足していたため、No.3レギュラーティーの芝を転用して張り替えた。
- ・No.16アプローチの芝を張り替えた。
- ・No.4フロントティーを70ヤード付近に増設した。富士山ティー部分が著しく乾燥していたため掘削したところ、右手前のメタセコイアの根が多数確認されたため除去した。
- ・No.12の富士山ティー右側を削り、シルバーティーを増設した。
- ・No.6特設ティー付近に暗渠排水を再施工し、ボールが集まりやすい箇所に掘削土を盛土してマウンドを設けた。
- ・No.3フェアウェイに侵入したメタセコイアの横根を除去し、砂を充填した。
- ・No.17グリーン左奥および右奥のバンカーをティーから視認しやすいように改修した。バンカー自体は小型化したが、視覚的なプレッシャーを与える設計とした。暗渠排水も再施工し、水はけと整備性を向上させた。
- ・No.18右奥バンカーの右手前を拡張し、暗渠排水とシートを張り直した。
- ・ボールが集まりやすい樹木下の裸地やカート路付近の芝を張り替えた。
- ・No.18グリーン奥の階段に使用していた枕木が朽ち、景観を損ねていたため撤去した。
- ・門松用の藁を確保するため、進入路付近の空地に田んぼを造成した。今後はこの藁を使用して門松を作成する予定である。
- ・ファンケルクラシック大会ではヘビーラフ仕様とすることができた。今年からフラッグの図柄を白青に変更した。進入路の枝が道路にはみ出していたため、バスの通行に配慮して伐採を実施した。大会自体はプレーオフが3回に及んだため、カップ切りを行った。女子プロ主催の「LADY GO CUP」も同時開催され、大会は大いに盛り上がった。

## 【質疑応答】

Q：熊の出没についての状況はどうか。〈好川理事長〉

A：裾野カンツリー倶楽部では、2011年にNo.11グリーン下の調整池近くで熊を捕獲したと聞いている。

〈片岡グリーンキーパー〉

→近隣では、昨年度に朝霧カントリー倶楽部で目撃情報があり、休場措置が取られたようである。全国的にも熊の出没が確認されているゴルフ場は多い。裾野カンツリー倶楽部でも、近隣ゴルフ場からマニュアルを取り寄せ、情報共有を行っている。

〈藤原総支配人〉

## 2. 運営協議委員会活動のご報告

〈山田理事 兼 運営協議委員長より〉 資料②

### 1. 各分科会の報告及び承認について

#### ①フェロウシップ分科会 〈山田運営協議委員長より〉

・シンプルな料理（蕎麦など）を今後検討して欲しいことを会社側に伝えた。

→月替わりメニューが6月から盛岡冷麺とハヤシライスになる。

#### ②競技・キャディ分科会 〈藤原総支配人より〉

・月例競技の参加者が少ないため、今後は参加率向上に向けた啓蒙活動を行っていく。

・ファンケルクラシック大会が10月開催となったため、倶楽部選手権の開催時期を6月以外に変更する案が出たが、7・8月は猛暑の影響もあることから現状通り6月開催とする。

・月例競技においてのティー位置については、「スロープレート方式」という考え方があり、個人がティーを選択し、A・Bクラス混合で競技を楽しむことも可能であるため、今後の導入を検討したい。

#### ③コース分科会 〈藤原総支配人より〉

・バンカー練習場の場所が分かりづらく、No.9ホールのバンカーで練習している方がいたため、看板の増設提案があった。

→新たに看板を4枚設置済み。なお、当日も練習している方がいたため、声掛けを行った。〈片岡グリーンキーパー〉

### 2. ウェルカムコンペについて

・第39回ウェルカムコンペを11月23日（日）に開催する。対象となる新入会員43名のうち、10名が参加予定。理事・運営協議委員4名、推薦人6名を加え、合計20名での開催となる（11月14日現在）。多くの参加が見込まれており、倶楽部内の交流が活発になってきている印象がある。今後も推薦者を含め積極的に参加を促していく。

#### 【質疑応答】

- ・ ウェルカムコンペでお渡しているバッグタグについて<山田理事>  
→キャンセルされた方のバッグタグが渡せずに残っているので、今後どうするか確認する。  
<藤原総支配人>

### 3. 年会費の未納状況および対応について

<藤原総支配人より> 資料③

- ・ 2024 年度の年会費未納者はおらず、除名処分の決議もない。
- ・ 2025 年度の年会費未納者は現在 4 名（正会員 3 名、家族会員 1 名）であり、今後解消に努めていく。

### 4. 第 24 回ファンケルクラシックの報告

<池森名誉理事より>

- ・ 来年度は 25 周年にあたるため、記念事業として面白い企画を実施していきたい。例年、ファンケルクラシックには 1 万人以上のギャラリーが来場しており、引き続き人気の高いツアーである。また、本年度は「LADY GO CUP」も開催され、ギャラリー数の増加につながり、大変盛況であった。

### 5. その他

<藤岡理事より>

- ・ 今年度で退会することを決心し、理事を退任される旨が伝えられた。これまでの多大なるご支援に対する感謝の意が表明された。

次回開催日について、2026 年 5 月 16 日（土）とし、参加された全員が承認された。  
以上で本日の議題全ての審議及び決議が終了となり、午後 3 時 30 分に閉会となった。

以上、議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長記名押印する。

2025 年 11 月 26 日

裾野カンツリー倶楽部 理事会

議長 理事長

好 川 弘 之

